



ケータイ用

なばり

2013年(平成25年) 3月10日発行

主な内容



3~6ページを、抜き取ってご使用ください

ごみ収集日程表

ごみの分け方・出し方(4月~9月)

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

忍者の衣装を着て、訪問先の子どもたちと交流し、将来の夢を聞きました。



東北応援フェア! 岩手久慈の産直美味いもん市で「まめぶ汁」が売店。東北の味は名張でも大人気でした。



■がれきの受け入れを検討いただき心強かったです。

久慈市は、岩手県の北東部の沿岸にある人口約3万7千人余りの市です。東日本大震災では、12メートルの防潮堤を乗り越えた大津波がまちを襲いました。特に沿岸部は大きな被害を受け、4人がお亡くなりになり、2人が行方不明となりました。復旧作業を進めるには、約10万トンのがれきの撤去が大きな課題でした。このたび、近隣の市町や秋田県でがれきの受け入れが可能となり、処理の目途が立ちました。これまで三重県や名張市が、がれきの受け入れを検討いた

だいていたことは、心強く、そのご好意に大変感謝しております。いつまでも震災のことを忘れないでほしいです。そのためにも、東北復興支援のイベントや交流はぜひ続けていってほしいと思います。久慈市には、「ご当地グルメの「まめぶ汁」という郷土料理があります。「名張牛汁」との「ご当地グルメ「汁もの」対決」ももしろいですね。久慈市では、沿岸部住民の高台移転など、復旧に向けての土台づくりは進んできました。被害が大きかった漁業

東日本大震災から2年ー復興への思い

■東北の物産を買うことも身近な支援のひとつです。

名張を中心とした伊賀地域在住の10数人のメンバーで、宮城県南三陸町の保育所を定期的に訪れています。子どもたちの心のケアをしたいと考えたからです。自分たちにできること、そして伊賀・名張から来たことも知ってもらうため、「忍者」の衣装で活動しています。

ムカブセルとして残して、何年後かにまた届けることにしています。家族や会社の人の協力があって、わたしたちは被災地で活動することができそうです。被災地へ行くことができなくても、東北への思いは皆さん同じだと思います。名張でもできる身近な支援はいろいろあるのではないのでしょうか。被災地で津波の被害にあった海産物販売業を営む人から、人手もなく、風評被害もあり大変だという話を聞きました。その人から商品を送ってもらって名張のお店に不定期ですが、置いて

関係者は、特に復興への思いを強く持っています。多くの市民の気持ちに伝えるため、一丸となって復興に向けて取り組んでいます。

先月、とれたて名張交流館にお越しいただいた岩手県久慈市の副市長に被災地の現状を、そして、被災地でボランティア活動をしている足立さんに復興への思いを伺いました。

もっています。東北の海の幸や郷土料理はとってもおいしいです。東北の物産を購入することも、名張でできる身近な支援のひとつだと思います。



ボランティアグループ
[NBA Win piece]
あだち よしえ
足立 淑絵さん (つじが丘)



くじ
岩手県久慈市岩
とだて まさとし
外館 正敏 副市長